

佐賀県・嬉野市事業「ひろしま神楽伝承」神楽指導

■ 経緯

佐賀県知事が地域伝統芸能への関心が高く、知事就任後、佐賀県伝承芸能祭を提案し開催され、今年度で4回目を迎える。

安芸高田市は、第1回大会から3年連続で招聘され「ひろしま神楽」の上演を行ってきた。

これを契機に、佐賀県での「ひろしま神楽」の継承の機運が高まり、神楽門前湯治村視察をはじめ、神楽講座・意見交換会の実施など、神楽と地域づくりについて取り組みが始まった。

■ 佐賀県事業概要

【佐賀県の伝承芸能次世代継承事業】

佐賀県では、県の地域資源である伝承芸能を将来にわたり継承し、地域の絆を深め、佐賀への愛着を育む社会の実現を図るため、佐賀県伝承芸能次世代継承事業として、県内の伝承芸能団体が一堂に会する「佐賀県伝承芸能祭」の開催や、佐賀県内各地の伝承芸能を映像コンテンツとして撮影保存し情報発信する「さが伝承芸能活用保存事業」などの事業に取り組んでいる。

【佐賀県の神楽の取組について】

伝承芸能の新たな取り組みとして、「神楽」と佐賀県の地域の伝承や文化を融合させ、新たな伝承芸能を創造することで、地域の活性化を図るとともに、既存の伝承芸能にも刺激を与え、佐賀県の伝承芸能全体が活性化することを目的とし、地元の若手劇団メンバーによる「佐賀神楽団」の結成や、県立高校で神楽に関連した活動などの動きが始まっている。

■ 今後の取り組み

8月2～4日 佐賀神楽団、佐賀県立太良^{たら}高等学校、佐賀県庁 来市 約40人

- 2日 19:00～ 美土里町 桑田の庄 神楽指導
- 3日 18:30～ 神楽ドーム 通し稽古

9月 1日 「佐賀神楽団」佐賀県内でプレ神楽公演

- 佐賀県知事・嬉野市長 鑑賞

11月23日 第4回佐賀県伝承芸能祭 「佐賀神楽団」初公演

(佐賀県資料 参考)

佐賀神楽団（劇団怜）について

視察を参考に、伝統芸能を通じて地域を活性化させ、魅力を高めていくため、地元の若手劇団メンバーが中心となり神楽団を結成。

「神楽」の先進地である広島県安芸高田神楽協議会から直接演技指導を受け、神楽技能習得に向けて活動を続けている。

今年度からは佐賀県立太良高等学校で子供たちに「神楽」を教えるなど、地域の若い世代と一緒に新しい文化を創造していく活動にも取り組んでいる

- ・代表 宮田悠輝仁
- ・メンバー 11人（2021年7月時点）
- ・活動拠点 佐賀県
- ・嬉野市「肥前夢街道」などで忍者ショーを中心に活動
- ・佐賀県立太良高等学校で「神楽」の授業を実施

<https://www.livesbeyond.jp/cn11/2021-03-19.html>

LiveS Beyond での取材映像